

卒後臨床研修目標(医道審議会臨床研修検討部会)

医道審議会医師分科会医師臨床研修検討部会

2 具体的目標

(1) 基本的診察法

卒前に修得した事項を基本とし、受持症例について例えば以下につき主要な所見を正確に把握できる。

- 1) 面接技法 (患者、家族との適切なコミュニケーションの能力を含む)
- 2) 全身の観察 (バイタルサイン、精神状態、皮膚の診察、表在リンパ節の診察を含む)
- 3) 頭・頸部の診察 (眼底検査、外耳道、鼻腔、口腔、咽頭の観察、甲状腺の触診を含む)
- 4) 胸部の診察 (乳房の診察を含む)
- 5) 腹部の診察 (直腸診を含む)
- 6) 泌尿・生殖器の診察 (注:産婦人科の診察は指導医と共に実施のこと)
- 7) 骨・関節・筋肉系の診察
- 8) 神経学的診察

(2) 基本的検査法 (1)

必要に応じて自ら検査を実施し、結果を解釈できる。

- 1) 検尿
- 2) 検便
- 3) 血算
- 4) 出血時間測定
- 5) 血液型判定・交差適合試験
- 6) 簡易検査 (血糖、電解質、尿素窒素、赤沈を含む)
- 7) 動脈血ガス分析
- 8) 心電図
- 9) 簡単な細菌学的検査 (グラム染色、A群β溶連菌抗原迅速検査を含む)

Objective Structured Clinical Examination: OSCE

医学系の学習・評価項目（第2版、平成18年9月）

- I. 診察に関する共通の学習・評価項目：プライバシーや苦痛への配慮、身だしなみ、言葉遣い、挨拶や説明
- II. 医療面接：導入部分、患者さんとの良好なコミュニケーション、患者さんに聞く（医学的情報、心理・社会的情報）、患者さんに話を伝える、締めくくり部分、全体をとおして、報告
- III. 全身状態の把握：第一印象、視診、触診、反応、臭い、バイタルサイン、身体計測
- IV. バイタルサインの測定（四肢動脈の診察などを含む）：診察時の配慮、意識レベル、体温、呼吸、上肢の脈拍・血圧測定、下肢の脈拍・血圧測定、下肢浮腫の診察
- V. 頭頸部診察：診察時の配慮、頭部の診察、頸部の診察
- VI. 胸部診察：診察時の配慮、聴診器の使用、肺の診察（前胸部、背部）、その他背部の診察、心臓の診察、頸部血管の診察、乳房の診察（シミュレーター使用）
- VII. 腹部診察：診察時の配慮、全般的注意事項、基本的診察法、病態に応じた精密診察法
- VIII. 神経診察：診察時の配慮、診察の順序、脳神経系の診察、上肢の運動系の診察、上肢の握力の診察と徒手筋力検査、起立と歩行の診察、下肢の運動系の診察、下肢の徒手筋力検査、感覚系の診察、反射の診察、髄膜刺激徴候の診察、認知機能の診察、意識レベルの診察
- IX. 外科系基本手技：診察時の配慮、病棟手洗い、静脈採血、持続的導尿（男性、女性）、手術時手洗い・ガウンテクニック、縫合
- X. 救急：成人の心肺蘇生法、小児の心肺蘇生法、意識障害患者への初期対応、気道異物による窒息への初期対応、蘇生チームによる心肺蘇生法、重症救急病態に対する救命治療、初期救急病態の鑑別と初期治療